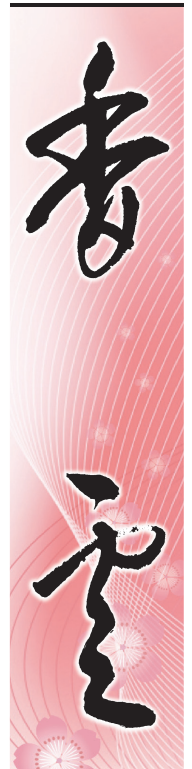


コロナ禍から復活した地域の鹿嶋祭り 飯塚洋三先生 画



発行所
〒010-0946
秋田市川尻総社町14-6
総社神社
<http://sosha-j.jp>

神道の自然観と気象



総社神社 宮司
川尻 孝紀

今年も世界各地で異常気象が続いています。我が秋田市では七月中旬に記録的豪雨により数千棟が浸水被害に遭いました。当然作物にも多大な影響を及ぼします。

食は生命の源であり、神様からの恵みの賜物です。我が日本民族では縄文の遙か古来より自然の営みは神そのものの力や営みとして恐れ畏こみ敬う対象としてきました。

光、水、風、山、川、海等に八百万の神々の働きを感じ取り、日常生活の中で神様と共にお祭りを繰り返し生活して参りました。

人間も動植物も生命有るものは全て神々の営みの内側に在るという自覚です。自分という存在も大自然の営みの一部であるということです。

神話伝承では、神様は国を産み、人を産み、その生命のために様々な神様をお産みになられます。

さて、奈良時代頃まで、祭祀は山そのものがご神体であり、そこにある巨石や巨木の前で神事が行われていました。海辺や川辺などの清浄な地を祭場と定め、そこに神々を招来し、供物を捧げて作物の豊穰や天下の安寧を祈ってきました。

現代人の生活は、科学万能を過信し、人間の欲望の趣くままにあらゆる資源を貪り続けています。これはやがて自分たちの生活や生命を自ら犯す事に他ならず、気がついた時には破滅的事態を招き兼ねません。天災も人災も人間の在り方にかかっていると思います。

神道は神と人の和合を目指して常に神意を伺いながら謙虚に生活してきました。

動植物はじめ全ての命の生存は常に時空の中継地点にあることを忘れてはなりません。今日こそ神道的な生き方や自然観が必要な時ではないかと思えます。

祭礼行事曆

令和五年元日～令和五年十月

- 一月 元旦 歳旦祭
- 青年会新年祈願祭
- 八月 どんと祭(成人の日)
- 月次祭
- 二月 節分祭・豆まき
- 稲荷神社初午祭
- 五日 紀元祭(建国記念の日)
- 奉祝秋田県大会)
- 十一月 祈年祭並びに月次祭
- 三月 月次祭
- 四月 第一回境内清掃奉仕
- 青年会総会
- 十五日 ボーイスカウト31団総会
- 月次祭
- 氏子崇敬会総会
- 昭和祭・第三十二回
- 秋田県出身特攻隊招魂祭
- 五月 神社総代会総会
- 第二回境内清掃奉仕

- 珍寶神社例祭(毘沙門町)
- 稲荷神社例祭(稲荷町)
- 春季例祭宵宮祭
- 春季例祭当日祭



春季例祭集合写真

- 六月 第二十一回秋田県鳶土木連合会安全祈願祭
- 第三回境内清掃奉仕
- 鹿嶋祭り
- 西表町・毘沙門町・肝煎町
- 月次祭
- 夏越大祓式(茅の輪潜り)

- 八月 第五回境内清掃奉仕
- 月次祭



清掃奉仕

- 七月 第四回境内清掃奉仕
- 月次祭
- 青年会定例会(暑気払い)



西表町鹿嶋祭

- 九月 第六回境内清掃奉仕
- 月次祭
- 観月祭 邦楽演奏

- 十月 第七回境内清掃奉仕
- 秋季例祭宵宮祭
- 秋季例祭当日祭

十一月以降の祭礼行事予定

- 十一月 第八回境内清掃奉仕
- 七五三参り
- 月次祭
- 干支大絵馬揮毫

- 十二月 干支大絵馬奉納式
- 月次祭
- 煤払い
- 餅つき行事
- 青年会・敬神婦人会奉仕
- 大晦日 師走大祓式



花菖蒲

総社神社創建
千三百年記念祭を
明年迎えるに当たって



総社神社 宮司

川尻 孝紀

総社神社は令和六年に創建
一千三百年を迎えようとしています。

聖武天皇の御代、神亀元年
(七二四年)と伝わっています。

奈良時代、七一九年、奈良に平城
京が開かれて間もなくの頃です。

持統天皇は、第四十天武天皇の
新国家造営のため新たに都を定め

られ、様々な改革が行われました。

そんな黎明期に第四十五代聖武天
皇も国家の基礎作りを大いに進め

ました。地方においても神社・仏閣
の建立が盛んに始められた時代で

す。総社神社は、往時、神光が飛来し
村民大いに怪しみ見た所、大己貴神

のご神託を受けて堂宇を建立、爾来
平安時代に藤原清衡候、鎌倉時代に

源頼朝候、江戸時代に徳川家康候・
佐竹義宣候等の崇敬により地方行

政の精神的拠り所の中樞を担って
来ました。

現在の社地は、佐竹候築城のため、
千秋公園(当時の矢留山・神明
山・三嶽山)から移転し、宝永四年



腐朽した鰹木

(二七〇七年)川尻上野に神領が定
められ今に至っています。

昭和六年に秋田市川口から出火
した火災は瞬く間に飛び火して神

社も類焼となりました。直ぐに再建
に向けて募財が始められ、昭和八年

に再建されたのが現在の社殿です。

昭和八年(一九三三年)から今年
ちょうど九十年に当たります。現

在の社殿は屋根の銅板が腐蝕し雨
漏り、更に千木・鰹木や屋根の下地

も腐朽が進み限界にきています。

この度、一千三百年の記念大祭を
迎えるに当たり、記念事業として御

屋根の銅板葺替えと拝殿の修繕・模
様替えを考えております。

つきましては、明年より記念大
祭・事業奉賛会を立ち上げ、広く浄

財を募りたく計画を進めておりま
す。次の一千年を目指して、神社の
興隆と地域の繁栄を築く礎にいた

したく存じます。

地域の皆様には、明年改めて趣意
書を以て広くお知らせ申し上げま
すので何卒ご理解とご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

秋田県敬神婦人連合会
創立五十周年記念・
第四十九回総会開催

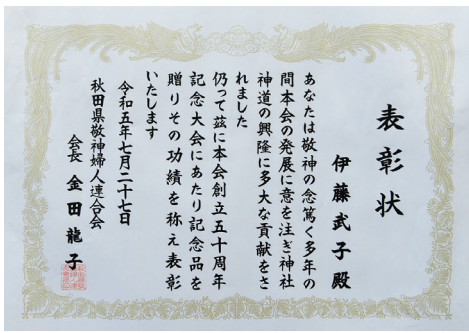


記念表彰受賞

伊藤武子氏

去る七月二十四日、ホテルメトロ
ポリタン秋田において、県敬神婦人
連合会創立五十周年記念式典(総
会)が行われました。

今回はコロナ感染症の災禍によ



表彰状

伊藤武子殿

あなたは敬神の念篤く多年の
間本会の発展に意を注ぎ神社
神道の興隆に多大な貢献をさ
れました

仍つて茲に本会創立五十周年
記念大会にあたり記念品を
贈りその功績を称え表彰
いたします

令和五年七月二十七日

秋田県敬神婦人連合会

会長 金田 龍子

り四年ぶりの開催となりました。

記念総会において、我が総社神社
敬神婦人会会長の伊藤武子さんが長
年のご尽力に対し、五十周年記念表
彰の栄に浴されました。誠にめで
とうございます。今後いよいよのご
健勝とご活躍を祈念申し上げます。

秋田県氏子青年連合会
総会開催



県氏子青年連合会長

渡部 顕氏

去る八月二日、秋田県氏子青年連
合会では、秋田キャッスホテルにお
いて平成二十七年以来八年ぶりに
総会が開催されました。

長らく総会が招集されずにいた
中、令和三年には前会長佐藤一氏が
逝去され、会長不在のまま中止のや
むなきに至っておりました。

さて、この度、役員が改選され新
会長に当神社青年会より渡部顕氏、
副会長に当神社青年会会長相原敬氏、
理事に佐藤文俊氏、監事に佐々木勉
氏が選出されました。

今後、単位会は元より、県氏子青
年連合会の交流発展と弥栄を祈念
申し上げます。

高齢化社会と介護施設



介護老人保健施設かみの里
支援相談室長 照井 寿和

介護老人保健施設かみの里支援相談員の照井です。一九九九年七月にかみの里が開設し、かみの里は早二十四年となりました。翌年二〇〇〇年四月に始まった介護保険制度は、この間何度も制度改正が行われ、その度に取り巻く介護環境は目まぐるしく変わってきました。当初の介護保険総費用は約四兆円でしたが、今や十一兆円を超える状況です。全国の要介護(要支援)認定者数は二一八万人から六九〇万人(二〇二二年三月末)と三・二倍に増加、サービス利用者数も一四九万人から五九二万人(同)と三・九倍に増加。秋田県はどうでしょう?

要介護(要支援)認定者数は約三・三万人から七・四万人(同)と二・二倍

へ、サービス利用者は二・六万人から約六・四万人と二・五倍(同)に増加しております。そして、全国の高齢化率は一七・四%(二〇〇〇年)から二八・九%(二〇二〇年)へ上昇、秋田県は二三・五%(同)から三七・九%(同)へ上昇。

現在秋田県は、高齢者一人を生産年齢人口一・四人で支えており、二〇四〇年には〇・九人で支える予測です。今後も介護サービスの需要は伸びていくことが予想される一方で、介護を中心的に担う生産年齢人口は減少していく予測です。

ただ、秋田県内の高齢者の約八割は要介護認定を受けていない元気な高齢者です。この元気な高齢者が健康を維持し社会で活躍できれば、県全体の活力の維持にもつながっていくのではないのでしょうか。

そのためには、介護予防への取り組みも含め、県人口の約三分の一を占める高齢者が活躍できる環境作りが課題と感じます。

もしこの先要介護者になった場合、皆さんはどういう人生を歩みたいですか?最後まで自宅で生活し

たい、家族に負担をかけないように施設で暮らしたい、考え方は人それぞれかと思えます。

もし、介護施設での生活が必要になった場合、交通の便や施設の雰囲気等も大事ですが、選定する上で重要なことは二点。

まず一点目は目的を明確にすることです。自宅に代わる生活の場として施設を利用したいのか?リハビリ等のため一時的に施設を利用したいのか?等々。

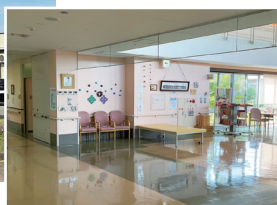
二点目は利用料です。施設の種類は様々で、介護老人福祉施設(特養)、介護老人保健施設、介護付有料老人ホーム等、グループホーム、短期入所生活介護(ショートステイ)、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅等々あります。

料金体系も施設の種類によって変わります。食費・居住費等の負担軽減を受けられる施設もあれば、そうではない施設もあります。

相談方法としては、直接施設の相談員に問い合わせる他、担当の居宅ケアマネジャーや地域包括支援センター、入院中であれば担当の医

療ソーシャルワーカーに相談の上施設を紹介してもらう方法もあります。

現在厚労省では「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」の普及に取り組んでおります。初めて耳にする方、堅苦しいなど感じる方もいるかと思いますが、介護施設利用のみならず、もしもの時自分自身が納得のいく人生が送れるよう、是非身近で信頼できる方とこの先について話し合ってみてはいかがでしょうか。



介護老人保健施設 かみの里

神社スカウト全国大会



ボーイスカウト秋田第31回
団委員長 田子 真

第十三回神社スカウト全国大会(令和五年八月六日(土)～七日(日))が三重県伊勢市で開催されました。総社神社の秋田第31団からは、指導者五名、スカウト十一名の計十六名が参加してきました。

大会前日の八月五日(金)に秋田空港に集合、結団式を行った後に搭乗し、中部国際空港に降り立ちました。空港から名鉄特急に乗り継ぎ、その日は名古屋城址公園を猛暑のなか散策しました。この日は名古屋市内のホテルにて宿泊。

翌六日(土)名古屋駅から近鉄特急を乗り継いで伊勢市の宇治山田まで行き、午後から皇學館大学の記念講堂にて開会式に参加しました。開会式では国歌斉唱を二回繰り返

しましたが、これは初めての経験でした。開会式後、手配されていた送迎バスに同乗して、伊勢市宮町にある奥文旅館に宿をとりました。古い歴史のある、中庭の景観もすばらしいとても個性的な旅館でした。

翌七日には、全国大会のメイン行事となる皇大神宮(内宮)での参拝行進を行いました。神社名・団名のプラカードを掲げて、厳かな雰囲気に触れることのできる神の森の中をゆっくりと行進しました。

その後、皇學館大学周辺にある史跡探訪(謎解き)に参加し、クイズに答えながら、何とかゴールにたどり着きました。なお、スカウトらの柔軟な思考力がなければ、私は決してゴールできませんでした。

皇學館大学倉陵会館二階で遅い昼食をとり、午後二時半からの大集会・閉会式に臨みました。その内容は公開されていませんでしたが、各地区のスタンツが披露された後、突然に相川七瀬(私はまったく知らない歌手でしたが)のライブが始まったのには驚かされました。なお、閉

式には三笠宮彬子様が来賓として出席されていました。

八日(月)の移動日には、おかげ横丁を散策しながらお土産を購入するなど、各自思い思いに行動しました。午後には伊勢の地を後にしてからは、名古屋駅を經由して中部国際空港にて解団式を行って、秋田に無事(秋田空港の上空に雷雲が居残り、着陸後しばらくの間機内に留まるなどありましたが)戻った次第です。

今回の神社スカウト全国大会に参加するにあたり、指導者の皆様には、大会運営組織との交渉・準備や旅券の手配・スケジュールの検討など、大変お世話になりました。また、関係者の皆様から饞別や陣中見舞いをいただきました。

さらに、大会期間中に宮城県連盟岩沼第1団(竹駒神社)と仙台第27団(大崎八幡宮)から七月秋田豪雨に対するお見舞金を頂戴しました。これらのご支援いただいた方々に対して、この紙面を借りてあらためてお礼申し上げます。

参加スカウトたちの感想

石橋和樹

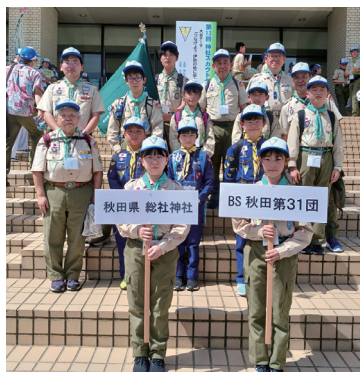
今回の神社スカウトでは、全国の神社スカウトたちと伊勢参りを行うことで、スカウト活動の意義を改めて感じることができました。また、他の団と交流、活動する特殊な楽しさや、赤福の味も覚えることができました。

田村莉歩

私が神社スカウトで楽しかったことは、九人以上の友達ができたことや、自分が持っていた交換グッズを全て交換することができたことです。また、相川七瀬さんや、彬子女王殿下が来たりして、すごいなと思いました。次におかげ横丁に行って赤福を食べたりしたことが楽しかったです。たくさんのお店があり、見ていておもしろかったです。次に神社スカウトに行くときも、いろいろなものを交換したり、友達を作ったりして楽しみたいです。

高島陽大

ぼくが思い出に残ったことは、参拝行進です。歴史のある伊勢神宮で参拝をすることができて、神社の歴



神社スカウト全国大会
秋田第31団参加スカウト

宇佐美健心
昔の建物なのに、こんなにきれい
なっていることにびっくりしま
した。さらに、自由研究として伊勢
神宮について調べてみたら、いろ
ろなことがわかりました。今回伊勢
神宮に行けて、本当に良かったと思
います。



神宮参拝行進

史のある感じが伝わってきてとて
も良い経験になりました。機会があ
ればもう一度伊勢神宮に行つてみ
たいです。

令和五年 小中学校児童生徒による 総社の杜俳句・川柳大会優秀作

本年は地域の小中学校より二八六点の応募作品が寄せられました。
厳正なる審査の結果、優秀作品二十句が選出されました。
感性豊かな素晴らしい作品を是非ご鑑賞ください。

☆ 優 秀

- 元旦は 総社神社で お参りだ
川尻小学校五年 寺門 心春
- 家族でね 話しながら行く はつもうで
川尻小学校五年 伊藤 桃花
- 町内に すずの音ひびく 初詣
川尻小学校五年 山端 優輝
- 冬の朝 必勝祈願 手をあわせ
川尻小学校五年 細川 陽向
- 秋の葉が 風にふれて おどりだす
川尻小学校五年 大久保未唯
- 総社の門 少しきんちようれいをする
川尻小学校五年 中屋 隆嶺
- こな雪や ひんやりとした 初もうで
川尻小学校五年 高橋 つばさ
- おまいりで みんながはしゃぐ 初詣
川尻小学校五年 鎌田 美羽
- 初詣 吹雪の中で 願い事
川尻小学校五年 大竹 椋太
- 風なびき 木々のおいが かおりだす
川尻小学校五年 加藤 杏
- ひまわりと きみの笑顔が うりふたつ
旭南小学校五年 高橋 和華
- 暑き夜 鳴りひびくのは 蟬の声
旭南小学校五年 伊藤 蒼祐
- 流れ星 ねがいをもって きえていく
旭南小学校五年 加藤 朱音

訃報

総社神社氏子崇敬会

幹事 阿部朝尾氏 三月逝去

総社神社青年会

会員 菅原國昭氏 七月逝去

謹んでご冥福をお祈り致します。



彼岸花



翠蓮

☆社報「香雲」第十号の挿絵は、飯塚洋三先生が担当くださいました。

暑い夏 木の葉のかげが ずずしいな

夏祭り 花火開いて 笑顔咲く

何年も 神社を飾る 御神木

セミの声 総社神社の 木に響く

セミの声 夏のおとずれ 感じるな

神様の 木 やどりし木々の 笑い声

総社の木 ザアザアひびく 神の声

星空へ 伸びる竿燈 どっこいしょ

苔の匂い 涼しい風吹く 夏の朝

竿燈が からくれない 唐紅の ほほて 類照らす

木々が揺れ 森の会話が 始まった

夏終わり 総社の風が 肌冷やす

木の影で 静かに交わす 誓いの手

夜の空 浮かぶ花火に 息をのむ

夏の風 木葉が揺れる あの木

蝉の声 総社に響く 夏本番

おみくじを 結んで願う 良き一年

みどり濃き 総社は街の 守り神 (選者詠)

旭南小学校五年 松橋 慶之

旭南小学校五年 三沢 龍

旭南小学校六年 松橋颯太郎

旭南小学校六年 畠澤 琥珀

旭南小学校六年 二木 奏多

旭南小学校六年 鎌田 柚希

旭南小学校六年 渡辺 悠輝

山王中学校三年 森下 和輝

山王中学校三年 今野 千礼

山王中学校三年 堀家 咲葵

山王中学校三年 伊藤 慧香

山王中学校三年 今野 結太

山王中学校三年 藤原 遠哉

山王中学校三年 熊谷 有芽

山王中学校三年 矢野 佐

山王中学校三年 浅利 成希

山王中学校三年 原田 琉花

菅原孤秋 選



しんとう 神道の知識 いろいろ

★出雲と 須佐之男之命

神話のふるさとと言われる出雲大社。はじめに

思い浮かべるのはやはり「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣作る その八重垣を」の須佐之男之命の短歌でしょう。

読みは「やくもたつ いづもやへがき つまごみに やへがきつく」 そのやへがきを

神話では、出雲に降った須佐之男之命が櫛名田比売を妻とする新婚の歌で『古事記』の最初に出てくる歌です。

意味は、妻を籠もらせるための八重垣を作ろうというものです。三十一文字の短歌の原型になったとも言われています。

★国譲り神話

天津神の命により大国主神は交渉の末に国譲りの条件として「我が住処を、皇孫の住処の様に深く深い柱で、千木が空高くまで届く立派な宮殿を建て祭るならば、そこに隠れ

居りましよう」と言われ、出雲の多芸志(たぎしの浜)に「天之御舎」を造ったと古事記に記されています。

★出雲大社

出雲大社は古代より杵築大社と呼ばれていたが、明治四年(二八七一年)に出雲大社と改称され「いづものおおやしる」と尊称されてきました。

島根県出雲市大社町杵築東に鎮座。式内社の名神大社、出雲国一宮で、旧官幣大社。宗教学法人出雲大社教の宗祠となっています。

現在の本殿は、延享元年(一七四四年)造営されたもので、高さ二四メートルあります。(国宝)

太古の本殿は九六メートルほどあったと伝えられています。

★大国主大神

祭神は 大国主神。別名に大穴持命或いは大己貴神とも呼称され全国各地に国造りの神、農業の神として祀られて崇敬を受けています。

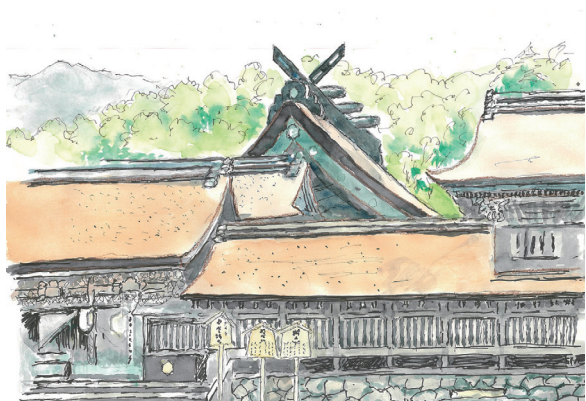
★神無月と神在月

出雲では、十月を神無月ではなく、神在月と称します。

神無月には、全国から八百万の神々が出雲に集まり神講(神様の会議)が行われるという伝承があります。

但し、全ての神が出雲に出向くわけではなく田の神・家の神・荒神様など留守の神も居ると言われています。

この神講から神々の縁が深まったことから江戸時代に縁結びの信仰が全国的に広まったと言われています。



出雲大社

あともがき

七月の県内は記録的な大雨でした。特に秋田県周辺で発生した水害は雨水があふれ、又、下水道が排水しきれないために起きた「内水氾濫」が起き、降り始めから短時間で道路や、家々の床下、床上等へ浸水しました。

被害にあわれた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

今夏の暑さは「異常」でした。

日本の平均気温が一八九八年(明治三一年)の統計開始以来最高となり、梅雨明け以降一気に気温が上昇し、野菜や果物、米作等にも悪影響を及ぼしました。

季節はもう秋です。十月は「秋季例祭」が行われます。穏やかな一日でありますように……!

(佐藤三郎記)



コスモス